

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p><b>1 DXで住民は救われるのか</b> (60分)</p> <p>今回の一般質問をするに当たって、『季刊「自治と分権」86号』に掲載された黒田兼一明治大学名誉教授の随想を引用することから始めます。</p> <p>「新型コロナウイルス感染症対策を利用して、デジタル化が急ピッチに進められようとしているが、デジタル化には大きな“落とし穴”がある…。</p> <p>昨年9月、「デジタル庁」が発足した。デジタル化推進の内閣直属の「司令塔」である。そこからの「司令」で、全国のすべての自治体でデジタル化を一気に進めていこうとしている。これを「自治体DX」と呼んでいる。…「デジタル改革」ということになる。</p> <p>もう一つ急ピッチで進められているのが、スマート・シティ構想である。行政手続きのデジタル化だけでなく、交通システム、上下水道、学校や図書館、病院や介護等のあらゆる住民サービスをAI等で管理していこうというものである。利便性と快適性を謳うが、市民への丁寧で多様な対応ができるのだろうか。停電や災害時、システム障害の場合に致命的な混乱に陥らないのか…。</p> <p>何となく先進的で便利なイメージのデジタル。対するアナログは遅れた古臭いイメージが付きまとう。デジタルは…指を折って物を数えるように、連続的で複雑な現実を切り取って数値で表現することをいう。…コンピュータの処理に適している。しかし現実はあるものが連続し、切れ目のないものであるから、それを正確には捉えられない。だから私たちは必要なものは頭のなかでそぎ落として、それをおよその形で認識する。これは現実を類似（類比）しているのでanalogyに由来して、アナログと呼ぶ…。デジタルは何らかの形で区切って数値化するわけだから、区切り方によっては現実の重要な部分が削ぎ落され、ゆがんだ情報で判断されてしまう危険性“落とし穴”がある。</p> <p>もう一つ重要なことがある。デジタル化された情報をどのように整理・処理するのか、その手順や計算方法（これをアルゴリズムという）をプログラム化して、命令しなければAIは動かない。そのプログラムを設計するのは人間である。何を目的に、どのようなデータをどのようなアルゴリズムで動かすのか、この心臓部分は人間が設計するのだから、権力者の主観や思惑が入り込む可能性がある。間違うと“落とし穴”にはまり、私たちは傷つく。</p> <p>自治体DXに伴う不安と危険性はここにある。何の目的でどのような個人情報をどのように集め、どのような手順で、どのように使うのか、透明性と納得性が不可欠である。ここにデジタル化と民主主義の両立の鍵がある。</p> <p>まずは個人情報を勝手に使われないように守られる必要がある。EU（欧州連合）では個人情報は基本的な人権であるとしてデータ保護の規制を厳しくしている。またシステムの構築とAIの利用そのものへの規制も必要だ。UNIグローバル労働組合はAIを使うときは労使交渉が不可欠だと主張する。日本でもIBMの労働組合がAIによる人事評価・賃金決定の情報開示を求めて係争中である。トップダウ</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>ンではなく、関係当事者の参加が不可欠だ。」以上、抜粋して引用しました。</p> <p>政府が進める「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」では、デジタル化が進めばどんな社会課題の解決にも役立つということです。魔法のような言葉ですが、実現可能なのでしょうか。そもそもDXがそのような意図で進めようとされてきたのでしょうか。私は、市役所業務のデジタル化によってAIやロボティクス技術で効率化が進むことを否定するものではありませんが、全国の自治体の一つのシステムに統合されるとなると、段階的に進むほどに後戻りができなくなるのではないかと危惧しております。</p> <p>今回策定されようとしている「鶴ヶ島市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」について「素案」の項目に沿って質問します。</p> <p>(1) 計画推進の前提について</p> <p>ア 全自治体一斉に国の指示で「右へならえ」するのは、地方自治の否定になりませんか。</p> <p>イ 日本のデジタル化の現状をどう把握していますか。 デジタイゼーション、デジタルライゼーション、デジタル・トランスフォーメーションと質的な発展段階があり、一足飛びにDXは達成できないといいますが、どう把握していますか。</p> <p>ウ 既存業務のデジタル化の推進について</p> <p>エ 統合型内部情報系システムの導入とDXとの関係は。</p> <p>オ 当面、5年間の期限ですが財政的裏付けは大丈夫ですか。</p> <p>カ デジタル人材の確保・育成は不可欠ですが、民間事業所とどのような関係を築くのですか。</p> <p>キ デジタルデバインド対策の実施で、その対象に対してどこまで徹底するのですか。</p> <p>ク 関係機関等との連携促進について</p> <p>ケ 市民コメントの結果について</p> <p>(2) DXが所期の内容で達成した場合の効果について</p> <p>ア 様々な社会的な課題の解決につながっていくということですが、どういうことでしょうか。</p> <p>イ 来庁しなくてもすむ行政サービスとは。</p> <p>ウ キャッシュレス化の推進が、市民にとってどう便利になるのでしょうか。</p> <p>エ 窓口業務のデジタル化の推進でどこまで進めるのでしょうか。</p> <p>(3) 情報セキュリティ対策の充実について</p> <p>ア 個人情報保護条例をどうするのでしょうか。</p> <p>イ 情報基盤の整備は。</p> <p>(4) 自治体情報システムの標準化・共通化の課題は。</p>	